

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス	期	前期
コース	トップマネージメント		昼間
学年	2	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

アパレル商品の取扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深め、アパレル業界で素材を扱うことのできる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。繊維ごとにその特性をまとめながら、素材の機能性を理解。またその洗濯・取扱い方法などを修得する。アパレル商品の取扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 第1週 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材・アパレル製品の流通経路
- 第2週 ↓
- 第3週 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
■繊維の種類と特性・取扱い方法について
- 第4週 天然繊維・植物繊維(1)綿
天然繊維・植物繊維(2)麻
- 第5週 天然繊維・動物繊維(1)毛
天然繊維・動物繊維(2)絹
- 第6週 化学繊維(1)再生繊維
- 第7週 化学繊維(2)半合成繊維
- 第8週 化学繊維(3)合成繊維
- 第9週 繊維の特性と取扱方法 まとめ
- 第10週 ■繊維に求められる機能と着心地
(生地加工・機能性について)
- 第11週 ■生地の種類(織物・編物)について
織物の代表的な組織とその特徴
- 第12週 編物の代表的な組織とその特徴
- 第13週 ■糸の種類と太さ
- 第14週 総復習(テスト傾向と対策)
- 第15週 総合テスト

【成績評価方法】

課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』、ファッション教育社、2012年
- ・田中道一『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

【実務経験の内容】

大手テキスタイルメーカーで企画に携わり、現在もアパレル商品の素材企画等に取り組んでいる経験を活かし、服飾素材の基礎的な知識を講義する。